



21.10.3 聖日-RT

空前絶後以前のこと ヨシ 10:10-14

序-サミットタイム (集中ポイント)	本	1. 証拠 (契約)	2. 機会 (問題-実践)	3. 作品 (信仰)	結 民 27:18 神の靈の 宿っている人
1. 霊的世界を味わう - 御座 (ヨハ 6:63)		1) ヨセフ 2) モーセ 3) 自分自身 (ヨシ 1:1-9)	1) アマレク 2) ヨシ 1:1-9 (民) 3) ヨシ 2:1-16 (ラハブ)	1) ヨルダン - 記念碑 2) エリコ - 一つ 3) エモリ - 身分 權威	サミットタイム 職分 OURS
2. 福音の力を味わう (モーセ - ヨシュア)					24, 25, 00
3. 歴史を味わう					事件(機会)

ヨシュア 10:10-14

10 主が彼らをイスラエルの前にかき乱したので、イスラエルはギブオンで彼らを激しく打ち殺し、ベテ・ホロンの上り坂を通して彼らを追い、アゼカとマケダまで行って彼らを打った。

11 彼らがイスラエルの前から逃げて、ベテ・ホロンの下り坂にいたとき、主は天から彼らの上に大きな石を降らし、アゼカに至るまでそうしたので、彼らは死んだ。イスラエル人が剣で殺した者よりも、雹の石で死んだ者のほうが多かった。

12 主がエモリ人をイスラエル人の前に渡したその日、ヨシュアは主に語り、イスラエルの見ている前で言った。「日よ。ギブオンの上で動くな。月よ。アヤロンの谷で。」

13 民がその敵に復讐するまで、日は動かず、月はとどまった。これは、ヤシャルの書にしるされているではないか。こうして、日は天のまなかにとどまって、まる一日ほど出て来ることを急がなかった。

14 主が人の声を聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦ったからである。

要約

RT のとき、少しだけ実践すれば、一生を左右することになる。それゆえ、この空前絶後以前のこと重要。

□序論_サミットタイム(集中ポイント)

RT はサミットタイムを持ちなさい。少しだけ安らかに黙想しても答えがきて、サミット時間を持っている RT は必ず大きな働きをする。RT のとき、1、2 回しても、大人になれば現れるようになる。反対に、中毒ポイントに陥ることになれば、一生、苦勞するようになる。ゲームのようなものを適当にすべき理由だ。

△インマヌエル・カント(朝の決まった時間に散歩して祈る)、エジソン(海で釣りをしながら多くのことを集中)

1. 霊的世界を味わう-御座の答え(ヨハ 6:63)

△霊的世界を味わえば御座の答えがくるようになる。ぶどう糖は酸素不足のとき毒になる。酸素が充分あれば、エネルギーとなる。霊的に通じることができると考え、心などあるが、呼吸、こういうことが通じる。結局は、御座と通じるのだ。

△大きい苦しみがくる前に、今、この時間を持ちなさい。奇跡は空前絶後でなく結果だ。

△ヨハ 6:63 -生かすのは霊で肉は無益なのだ。

2. 福音の力を味わう(モーセとヨシュア)

福音が私に臨んで福音の力を味わう、これが本当の空前絶後だ。モーセ、ヨシュア

3. 歴史を味わう

本当にこの祈りをする人、サミットタイムを持つ人は歴史を味わう。歴史の流れに乗って味わう。

△この三つのことを知っている人は何の背景がなくても、誰も助ける人がいなくても勝つことができる。

□本論_空前絶後の答えがくる前に三つのことをしなさい

1. 空前絶後の証拠を握りなさい(契約を握ること)

1) ヨセフとともにおられた神様

(ヨシュアは)なぜエジプトにきたのか、どんなことがあったのか知っていた。他の人がみな揺れても揺れなかった。

2) 40年間、モーセとともにおられた証拠を見た。

3) 自分自身(ヨシュア)に与えられた契約を握った。(ヨシ 1:1-9)

△すべての問題がきたとき、言い訳せずに契約を証拠として握りなさい。できてかまわなくて、できなくてもかまわない。正確な契約を握っているのか。答えがきても、来なくても関係ない。生きても大丈夫で、死んでも大丈夫だ。

2. 空前絶後の機会にしなさい(問題がきたとき重要な機会として握る実践をしなさい)

空前絶後の証拠を握って空前絶後の機会にしなさい。モーセとともにいたとき、ヨシュアはとても重要な機会をのがさなかった。

1) アマレク戦闘-モーセは祈って、本格的な戦いをした人がヨシュアだ。

2) ヨシ 1:1-9 -モーセが死んでイスラエルの民が揺れたとき空前絶後の機会とした。

3) ヨシ 2:1-16 -イスラエルがいちばん重要な時間に斥候を送ってラハブに会った。ヨシュアは、空前絶後の答えを受ける以前に味わったのだ。

3. 空前絶後の作品を作りなさい(未信者が知らないことを知る信仰)

1) ヨルダンを渡った-記念碑を作った。

2) エリコを崩した-契約と祈りだけ味わうことができるように契約の箱について行きなさい。ただ一つ、契約だけについて行きなさい。

3) エモリ戦闘-主に語り!身分と権威を味わう祈り

△空前絶後の、この霊的世界の祝福を味わっていれば、この三つのことがくる。教会のことも、勉強も、事業もこのようにしなければならない。

□結論_民 27:18 (神の霊の宿っている人)

△RT は人々が作った価値がないことではなく、神の霊の宿っている人の答えを受けなさい。3 団体のようにネフィリムに陥らずに、神の霊の宿る、その時間を持ちなさい。

1. サミットタイムを持ちなさい

-おもに朝の時間に持ちなさい。

職分を味わうタイムを持ちなさい(見張り人、医者、大使)

-おもに昼の時間に持ちなさい。

ただ、唯一性、再創造のシステムを作りなさい(OURS)

-おもに夜の時間に持ちなさい。

2. 24、25、永遠の答えがくる。サミットタイムを味わっていて、サミットになるのだ

3. 事件に会えば、すべて機会になる。これが空前絶後以前のことだ

RT はとても小さくしたことで、後には大きい答え、一生の答えとして来るようになる、反対に RT のとき、福音を悟ることができなくて霊的問題が来ると、大人のときには大きな問題に変わるようになる。

全文打ち出し翻訳

Remnant は、少しだけ実践すれば、一生を左右します。それゆえ、この以前のことが重要です。

□序論_サミットタイム(集中ポイント)

Remnant は、無条件に、サミットの特別時間を今から持たなければなりません。事實は、みなさんが少しの間でも本当

に安らかに黙想するだけでも、助けになります。また、みなさんが、サミットの時間をいつも持つ人は、必ず大きな働きをしました。インマヌエル・カントという人は、朝の時間に1分もずれずに祈る散歩をしたと言われていました。時計がなくても町のおばさんたちがカントが過ぎ去るのを見て、何時だ、ということが分かったと言われていました。それも、とてもサミットタイムです。エジソンのような人は、海で釣り場で多くのことを集中したと言われていました。どうであろうと、一番楽に Remnant のとき、少しだけ持ち始めれば、大人になったときには完全に違います。さらに、みなさんは、1、2回したことも、大人になったときに現れます。ですから、空前絶後が重要ですが、それが重要なのではなくて、なぜこのようにしなさいと言うのでしょうか。

1. 霊的世界を味わうー御座(ヨハ6:63)

霊的世界を味わうことができる力がなければなりません。それゆえ、サミットタイムを持つ、どの時間でも大丈夫でしょう、集中できるポイントがあれば良いです。重要です。Remnant 必ず記憶しなければなりません。私にサミットタイムで集中するポイントがあるということです。それがもうできるのです、事実は。反対に、これが中毒にいつも陥るポイントがあるとすれば、その人には必ず問題がくるでしょう。そうでしょう。ですから、みなさんにゲームは適当にして、度を越してしてはならないというのが、そのことです。みなさんが中毒にどっぷり陥るポイントがあれば、それは一生苦労します。ですから、このように「サミットタイムを持つ集中ポイントが何か」今週に一度考えてみてください。

私の場合は、からだを最も生かすことができるのが呼吸なので、呼吸に合わせてこの時間(サミットタイム)を持ちます。最も簡単な例で、私たちのからだを元気にするのがぶどう糖ですが、酸素が足りなければ毒になります。酸素が充分であれば、エネルギーになるのです。そして、また、みなさんの脳にはものすごい、十分な酸素が必要です。それゆえ、例えば車に乗って行っても、みなさんが運転してうとうとする場合は、酸素が足りないからです。また、私たちが霊的に通じることができるのが、ものすごい私たちの考え、心、こういうことが、呼吸、このようなことが通じます、このように。そして結局は、御座と通じるのです。これは必ず持たなければなりません。

みなさんが今、他の方法で「私がガンになった、しなければならぬ」ということも良いのですが、それよりはこれがより良いです。みなさんがほんとうにとっても大きい苦しみがきて、「はあ、本当に仕方ない」と言いながらこれを持つことができます。そうでしょう。いま、そんなことがないときに持ちなさいということです。さあ、大人になって、あまりに苦しくて、あまりに大変で、そのようなときに持つことができます、このように。みなさんは今、持たなければなりません。

奇跡は空前絶後ではありません。それは結果です。イエス様が話をされました。「荒野の道を行くとき、マナを食べたこと、それはあまり重要なことではない。五つのパンと二匹の魚で五千人が食べて残っただろう。それも特別なことではない。重要なことではない」それとともに何と言われたのでしょうか。「生かすのは霊で、肉は無益です」イエス様が奇跡を起こした後に言われたみことばです。クリスチャンは、このような話を必ずわかるべきです。「ああ、そうだね」みなさんが、とても悩んでいることをみな見れば、みな肉的なことです。肉は無益です、そう言われました。

2. 福音の力を味わう(モーセーヨシュア)

さあ、本当の空前絶後は何でしょうか。福音が私に臨んで、福音の力を味わうということが、本当の空前絶後です。そうでしょう。モーセ。ヨシュア。これが空前絶後の本当のことです。そして、私たちはまた、未来を知っています。

3. 歴史を味わう

本当にこの祈りをする人は、サミットタイムを持つ人は、歴史を味わいます。歴史の流れをしっかりと乗りながら味わいます。来週には Remnant にギデオン 300 勇士、ではなく、ギデオン 300 小心者。聖書を詳しく見てください。彼らは本来、勇士ではありません。士師記を大人たちに説明したのですが、みなさんに一度しよう。なぜでしょうか。みなさんが何の背景もなく、だれも助ける人がいなくても勝つことができるのです。この三つのことを知っている人は。

口本論

さあ、Remnant 今から、すると、これを(序論)そっと味わい始めながら三つのことをしてください。空前絶後の答えがくる以前に、三つのことをしてください。

1. 証拠

ヨシュアのように、みことばにあった、歴史にあった、福音にあった空前絶後の証拠を握りなさい。

2. 機会

二つ目です。みなさんは今は Remnant ですから機会があります。空前絶後の証拠を握って、空前絶後の機会を作りなさい。機会。小さくても大丈夫です。

3. 作品

三つ目です。空前絶後の作品を作りなさい。このようになります。

1. 証拠(契約)

さあ、空前絶後の証拠を握ったということは、契約になるでしょう。

2. 機会(問題-実践)

空前絶後の機会を作りなさいということは、問題がきたときに、重要な機会を握ることができるということでしょう。

3. 作品(信仰)

空前絶後の作品を作ることは、未信者が知らないことを知る信仰です。

1. 証拠(契約)

1) ヨセフ

このヨシュアは、すでにみなさんご存じのように、なぜエジプトにきたかを知っていました。ヨセフとともにおられた神様。どんなことがあったのかを知っています。その証拠をしっかりと握るのです。そして、他の人がみな揺れるのに、揺れませんでした。

2) モーセ

また、为什么呢。何の証拠でしょうか。40年間、見ました。モーセとともにおられた証拠をしっかりと握りました。

3) 自分自身(ヨシ 1:1-9)

さらに重要なことは为什么呢。自分自身に与えられた契約を握った、その話です。ヨシュア 1 章 1 節から 9 節です。モーセとともにおられることを見ました。エジプトに来て、どんなことがあったのかを知っています。このように、契約を正確にしっかりと握るのです。みなさんがすべての問題が生じたとき、言い訳したりせずに、契約、証拠を明らかにして、しっかりと握りましょう。そのようにするならば、できてもかまわなくて、できなくてもかまいません。そうでしょう。みなさんが正確な契約を握っている。答えが来てもかまわなくて、来なくてもかまわなくて。後ほどくるから、以前の話を話しています。もっと深刻に話せば、みなさんが契約を正確に握りましたか。生きても大丈夫で、死んでも大丈夫です。

2. 機会(問題-実践)

さあ、機会をのがしてはなりません。モーセとともにいたとき、ヨシュアはとても重要な機会をのがさなかったのです。

1) アマレク 戦闘

その中の一つ、アマレクとの戦闘。危機がきたとき、その戦場に行って、モーセは祈って、本格的に戦った人がヨシュアです。さあ、以前に、すでにあったのです。

2) ヨシ 1:1-9 (民)

ヨシュア 1 章 1 節 9 節にモーセが死んだとき。モーセが死んでから、民が揺れたのではないのでしょうか。そのとき、空前絶後の機会をしっかりと握りました。それがヨシュアがしたことです。

3) ヨシ 2:1-16 (ラハブ)

いよいよ見てください。ヨシュア 2 章を見ると、イスラエル民族が最も重要な時間に斥候を送ります。この斥候がラハブという人に会ってきます。見てください。ヨシュアが今、空前絶後の答えを受ける以前に味わったことです。証拠を握ってください。すると、必ず機会が来ます。その機会をのがしてはなりません。

3. 作品(信仰)

そして、それを作品で作ってしまいなさい。

1) ヨルダン-記念碑

どのように作りましたか。ヨルダンを渡りました。記念碑を作りました。このような作品です。

2) エリコ-一つ

いよいよ、エリコを崩すのです。エリコでは为什么呢。契約と祈りだけ味わうことができるように、契約の箱について行きなさい。何もすることはありません。ただ一つ契約だけについて行きなさい。そこに作品を残しました。

3) エモリー-身分、権威

いよいよ今日の本文は为什么呢。エモリの戦闘が起きたとき。「主に語り」みなさんが持っている身分と権威を味わう作品を作りなさい。その「主に語り」ということばが出てきて「日よ。ギブオンの上で動くな。月よ。アヤロンの谷で。」これが重要です。みなさん、空前絶後のこの霊的世界の祝福をきちんと味わってれば、こうして3つ(本論)がきます。それでこそ、みなさんが大人になれば教会の動きもこのようにします。勉強もこのようにすべきです。知っているでしょう。事業もこのようにしなければなりません。何でもこのようにしなければならぬのです。

このようになります。するとその後に答えられて、ずっと来るでしょう。みなさんはじっとしているのに、みなさんの答えを見て、他の人ずつついてきます。いよいよ証人になるのです。するとまた、機会が出てきます。もう世界福音化する作品が残るようになります。

□結論

民 27:18 神の霊の宿っている人

今からみなさんは、民数記 27 章 18 節に今朝、言いました。ヨシュアについて出てきました。「神の霊の宿っている人」そう言いました。ものすごい単語でしょう。私たちの Remnant が、人々が作った価値がない、それではなく、神の霊の宿っている人。3 団体のようにネフィリムに陥ったのではなくて、神の霊の宿っている人。

サミットタイム

さあ、このタイムを持ってください。さっき話したサミットタイム。おもに朝に持ってください。

職分タイム

そして昼には、朝にはサミットタイムを少し持って、昼にはできれば、見張り人、医者、大使です。みなさんの職分を味わうタイムです。無条件に、私は見張り人、医者、大使です。親のゆえに試みに会わないでください。親を生かす見張り人。「私たちの家系はなぜ!」そうではありません。見張り人。その人々を治してあげなければなりません。医者。その人々に仕えるべきです。大使。これが昼の祈りです。

OURS

夜にはただ、唯一性、再創造のシステム作ってください。知っているでしょう。すぐできなくてもかまいません。はじめだけでも、すでに答えが始めます。さあ、道を行く人は、正しい道に入ったら、すでに道を見つけ始めたのではないのでしょうか。必ず記憶しなければなりません。

24, 25, 00

これができれば、そのときから来ることがあります。何が来ますか。24、25 がぴったり来ます。このときになれば、もうみなさんは祈りを正しく学んだのです。このようになれば、みなさんはサミットになるのです。さあ、サミットタイムを味わっていてサミットになったのです。

事件

さあ、もう簡単に話せば、Remnant 7 人がこのようになったとき、事件に会うようになります。怖いでしょうか、怖くないでしょうか。怖くありません。事件に会えば、すべてみな機会です。このようになるでしょう。

これが空前絶後以前のことです。空前絶後の答えはずっと来るようになっていきます。来なくてもかまわないのですが、来ます。分かるでしょう。Remnant がのがしてはいけない今週のメッセージ。次週には Remnant が握る契約が何でしょうか。何の背景もなく、力がない人を用いられた神様。その理由、そのタイム、方法を見つけます。分かりますね。Remnant はメッセージのがさずによく整理してずっと祈ってください。小さい実践、小さいフォーラムをすれば良いのです。また、ある時は少しだけ考えてもかまいません。Remnant のときは、とても小さくしたことも、後には大きい答えとして、一生の答えとして来ます。みなさんはよく分からないのですが、そうなります。

反対に Remnant のときに福音を悟ることができなくて霊的問題が来たのが、大人になるときは大きい問題に変わります。今、大きい殺人に陥った人々は、全部、幼い時の霊的問題のためにです。みなさんくらいのときに、この考えを全く一度もしてみたことがないでしょう。また、麻薬に陥った人々、精神病患者、そのようになります。このようなことが全くなかったために。

みなさんが一度だけしても大丈夫です。ところが、これがもし続くなら、世界福音化になります。祈ります。

祈り

王の王であるイエス・キリストの恵みと、私たちの神様の大きい愛と、聖霊様の働きが、全世界の Remnant の上に、インマヌエルの Remnant の上に、今からとこしえまでもにありますように。アーメン。